「キク産地づくりセミナー」開催要領

１　目　的

奈良県は全国有数のキク産地で、なかでも葛城市では、大正末期から昭和初期頃にキク生産が始まり、生産量が日本一の二輪ギクをはじめ、多様なキクが生産されています。しかし、生産者の高齢化や担い手不足が進み、生産量が年々減少しています。

そこで、葛城のキク産地振興にあたり新たな担い手を育成するため、比較的栽培しやすい小ギク生産に新規に取り組みたい方を募集し「キク産地づくりセミナー」を開催します。応募者には、お盆向け（７月下旬～８月上旬）の小ギク生産・出荷に必要な栽培技術に関する研修を受講していただきます。

２　セミナーについて

１）セミナーの全体像

初年度は、下表のとおり基礎研修として、スタートアップセミナー（キクづくりに必要な栽培技術等の講義（座学））と体験研修（研修ほ場での栽培実習、産地見学など）の小ギク栽培に必要な研修を受講していただきます。

その翌年は、基礎研修を受講された方を対象に、より栽培に必要な知識と技術の定着を図るための実践研修として、フォローアップセミナー（キクづくりに必要な栽培技術の定着を図るための講義（座学））と現場研修（受講生が準備したほ場での栽培実習など）を計画しています。

表　キク産地づくりセミナーの構成

年度	研修メニュー		内容	種類	回数
１年目	1)基礎研修	①スタートアップセミナー	キクづくりに必要な栽培技術等の講義	座学	全5回
		②体験研修	研修ほ場（葛城市）での栽培実習や産地見学など	実習	
２年目	2)実践研修	①フォローアップセミナー	キクづくりに必要な栽培技術の定着を図るための講義、現場研修の報告会など	座学	６回程度
		②現場研修	受講生が準備したほ場での栽培実習など	実習	通年

・開催場所について

１）基礎研修　ＪＡならけん　新庄営農経済センターおよび周辺生産者圃場

２）実践研修　ＪＡならけん　新庄営農経済センターおよび受講生が準備したほ場

・実践研修について

１年目に基礎研修を受講された方で、希望者には２年目の実践研修を受講して頂きます。

２）基礎研修（1 年目）の内容

	①スタートアップセミナー	②体験研修（予定）
第1回	キク栽培の導入にあたって キクの生理生態と栽培の実際（ほ場準備から定植）	定植作業 ほ場の見学
第2回	キクの栽培の実際 （定植後の管理と開花調節、病害虫対策）	摘心作業、 電照設備等の見学
第3回	キクの栽培の実際 （切り花の収穫、調製・荷造り、出荷）	ほ場、出荷場見学
第4回	キクの栽培の実際（収穫後の管理、親株の管理） 県内産地の状況について	親株ほ場、調整場見学
第5回	JAならけん葛城花卉出荷組合の入会について 組合の取組について	

・開催日については、募集用のチラシをご参考ください。
・各回１３時３０分～１５時３０分までの２時間程度です。
・雨天決行（雨具、長靴等は各自で持参してください。）
・その他、研修で使用する資材は、こちらで準備します。

３）実践研修の内容

	①フォローアップセミナー	②現場研修
第1回	定植、摘心、病害虫防除等について	受講生が準備したほ場にてキクづくりを実践（通年）
第2回	定植後の管理、病害虫防除等について	
第3回	収穫、調製、荷造り、出荷等について	
第4回	出荷規格等について	
第5回	収穫後の管理、次年度育苗準備等について	
第6回	育苗準備等について	

・開催日は受講申込みの意向調査の際にご連絡します。
・各回１３時３０分～１４時３０分までの１時間程度です。

３　場　所

ＪＡならけん新庄営農経済センター及び周辺キク生産者ほ場

住　　所：〒639-2141　葛城市弁之庄 34－1

電話番号：０７４５－６９－２２５５

４　受講対象者

奈良県内で小ギク生産・出荷を目指し、全講座に出席可能で利用可能な農地を確保できる方。また、セミナー終了の翌年度から、「ＪＡならけん葛城花卉出荷組合」への入会と、収穫した切り花をＪＡならけん新庄営農経済センターに持込み出荷を希望する方を対象とします。

５　受講料　無料（定員５名）

申込者多数の場合は、別紙申込書（応募用紙）の内容から書類審査によって選考します。